

138) 本種は和名無く産地の詳細もわからない疑問種であつた。昨夏清水氏がエキシカタ材料に木曾駒岳と八ヶ岳(夏沢峠)で採集した *G. concinnatum* (Lightf.) Cda. にごく近い種で見方に依つては同一種乃至地理的亜種として扱われるであろう。

139) ノグチサキジロゴケは葉鈍頭の特異な種であるが、既知の産地も九州の3火山(久住、由布、霧島高千穂峰)に限られ、高度も大体1400米、火山岩上に着生する。今夏尼川大録氏がエキシカタ材料を久住山で採集した。

140) アカタカネゴケは先年私が北アルプスで採つたのみで(服部、上掲書)、今度報告する木曾駒岳が我国内の第2産地となる。清水氏が同山頂上附近で採つたエキシカタ材料の一つである。

141) ハガワリイテヨウウロコゴケは東京都下の氷川天祖山が唯一の産地であつたが、今夏清水氏が秩父十文字峠でエキシカタ用に採集された。

今回報告した苔類はすべて日本苔類標本第5集に収録してある。採集者前原勘次郎、清水大典、尼川大録の各位に深く感謝する。

正 誤 表 Errata (本誌 28 no. 4)

頁 (page)	行 (line)	正 (read)	誤 (for)
98	Table 1	Systema	Sytema
99	脚註 3	Codiales	Conidiales
"	" 9	Ancylistales	Ancylistiales
"	" "	Saprolegniales	Saplolegiales
102	3	簡單同長	簡單異長
122	21	19 卷	16 卷
"	27	に、	を、
"	"	植物	成物
123	1	通すが	通るが
	9	これは	これば
	25	支那	支邦
	33	絶えず	純えず
	35	カシワの名	カシワ名
	37	南方にしかない	南方にない
	41	後著	後者
126	5	トウガラシ末	トウガシラ末

表紙の 2 Miscellaneous の Ethnobotanical...の前に著者名 Fumio MAEKAWA を入れる。